

A講座 地域史を学ぶ楽しみ 定員120名程度

古代から近代まで、より庶民に近い視点から地域の発展をとらえ、ふるさとへの理解を深める講座です。

A-1	4月27日(土)	10:00～11:30	巨大だった十和田火山と白頭山火山の噴火と災害 ～北秋田市の胡桃館遺跡と9・10世紀の大地動乱～	元秋田県教育庁文化財保護室室長 船木 義勝 氏
A-2	5月18日(土)	10:00～11:30	中世東北に見る太閤検地 ～最後まで秀吉に抵抗した地侍金右馬允～	由利本荘市文化財保護審議会 会長 鈴木 登 氏
A-3	5月25日(土)	10:00～11:30	殖産による「国益」をめざして ～川連村肝煎 関喜内の養蚕振興～	元男鹿海洋高等学校校長 渡 部 紘 一 氏
A-4	6月 8日(土)	10:00～11:30	大坂詰勘定奉行の憂鬱 ～介川東馬・天保期の藩財政のために奔走～	前秋田県生涯学習センター所長 金 森 正 也 氏
A-5	6月22日(土)	10:00～11:30	経済有用の学の実践 ～明德館祭酒・野上国佐の実像～	元秋田県立博物館副館長 加 藤 民 夫 氏
A-6	7月 6日(土)	10:00～11:30	農村を救う道は農法の確立と勤儉にあり ～僧浄因と肝煎長崎七左衛門の農書に学ぶ～	前秋田県生涯学習センター所長 金 森 正 也 氏
A-7	7月27日(土)	10:00～11:30	自由民権期の人々 ～近代国家と東北地方～	秋田近代史研究会 菊 池 保 男 氏

「新たな史観で」をテーマに全7回で構成し、大変人気の高かった講座です。

これまであまり着目されてこなかった、県内各地の歴史上の人物やテーマを取り上げ、ふるさとへの愛着を深めることを目指しました。

例えば、秋田藩の有能な下級官吏の実像や、由利の金右馬允（こんうまのじょう）、湯沢の関喜内（せききない）、北秋田の長崎七左衛門（ながさきしちざえもん）などを取り上げました。

受講者は、はじめて聞く郷土の人の昔の事績に、熱心に耳をかたむけていました。



湯沢の関喜内について語る渡部氏



明德館・野上国佐（のがみくにすけ）の実像を語る加藤氏



9・10世紀の噴火と災害について語る船木氏